

日本基督教団 西宮公会

新年礼拝

2026 年 1 月 1 日（木、祝）午前 11 時より

司 会：守屋 寛子
当 番：二宮百合子

前 奏	奏 楽 者
招 詞	ヨハネの黙示録 21 章 6 節
主 の 祈	司 会 者
交 読 文	46 黙示録 21 章
讃 美 歌	24 番
聖 書	ルカによる福音書第 4 章 16-21 節
祈 禱	司 会 者
説 教	「警鐘を鳴らすもの」
	菅澤 邦明 牧師
讃 美 歌	418 番
献 金	司 会 者
献金感謝	当 番
後 奏	奏 楽 者
報 告	司 会 者

《次回礼拝予告》 聖日礼拝

2026 年 1 月 4 日（日）午前 10 時 45 分より
聖 書：ルカによる福音書 2 章 41-52 節
説 教：「希望はあるのか」

菅澤 邦明 牧 師

交読文：37 イザヤ書 35 章
讃美歌：217, 420
司 会：児玉 道子

当 番：古谷 佳之

人間は生きものであり、
自然の一部である

生き物たちが共存する。
街の中の小さな森の一年は、「生きとし生けるものたち」の日々の暮らしの場所だった。

小さなピンクの花が、若緑の葉っぱとなり…、夏が過ぎて、秋になって、実が茶色になるカリン。

葉っぱがまだらに色づく頃、もぎ取り残した柿の実をついばむ、ひよどり。

庭のどこかに地下の城を構える黒蟻の遠征。

集められた葉っぱを、底の開けられたフレコンバックに忍び込んで土に変えていくミミズたち。

川沿いのプランターのポーチュラカに舞うシジミチョウ。

実になったしその枝を揺らしてついばむ雀。

櫓の巢作りでにらみをきかせていたカラスの子どもは今、一人前にカアカアと鳴いている。

全体が真っ赤に見えるクリスマス・ホーリーの実はあ
る日気がついたら一粒も残っていない。

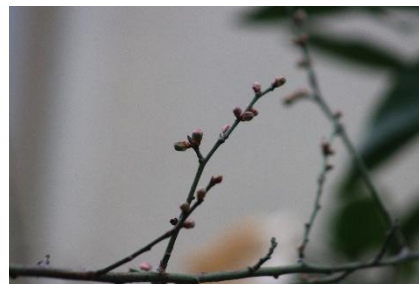
街の中の小さな森では、秋ごろからほしまつりの背の
高い竹の先で緑の旗が揺らいで、新しい年を迎える。

人間は生きものであり、
自然の一部である。

◇1 月 11 日（日）午前 10 時 45 分～
西宮公会・教会学校合同
兵庫県南部大地震犠牲者追悼の日記念礼拝
「あれから 30 年、長くて短い日々でした」
説教：菅澤 邦明 牧師

◇1 月 17 日（土）午前 10 時～
大地震子ども追悼 井本英子コンサート
場所：アートガレーヂ

◇1 月 17 日（土）～25 日（日）
大地震子ども追悼 藪本栄衛 童子像展
場所：アートガレーヂ



明日への祈り

大好きなのは

緑の草原を走り

せせらぎを跳び越え

まぶしくっても

仲間と一緒に

お日さまを

見上げること

うれしいのは

お父さんの背中



（菅澤 邦明）